


シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	集客施設	小分類	施設単体	シミュレーションモデル名	AVENUE				
概要	適用事例名	東戸塚中央街区の商業施設開発による周辺交通への影響評価							
	目的・概要	本事例は、横浜市の東戸塚中央街区に建設される商業施設の開業後における計画地周辺の道路交通についての将来予測および分析を行うことを目的とする。商業施設の駐車場に出入りする車両が道路交通へ与える影響を評価し、特に、開店に伴い中央街区南北2つの前面道路の一方通行の規制方向が反対方向(時計回り→反時計回り)に変更になるため、中央街区と駅前広場の間にある道路の交通の流れについても予測し、問題のないことを確認した。							
	本事例におけるモデル適用上の特徴								
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	東戸塚駅東口周辺(100m×200m)			対象時間帯	休日 10:00~18:00			
	評価対象時期	東戸塚中央街区商業施設開業時(平成11年度)							
	対象道路網	主要地方道、細街路							
	ネットワーク規模	ノード数	2	リンク数	10	起終点ノード数	6	総トリップ数	8030
		一般街路ネットワーク		交差点数	2	信号交差点数	2	道路区間数	5
		自専道ネットワーク		分岐部数	—	出入口数	—	道路区間数	—
	特記事項								
(ネットワークの概略図面を添付)									
									
入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度						
		交差点部	飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数						
		合流部							
	信号制御	設定パラメータ	信号現示、オフセット						
		作成方法	想定データを用いる						
	交通需要	設定単位	OD 交通量						
		作成方法	現況交通量: 交通量調査(平成11年)の各交差点交通量及び右左折率より推定 開発交通量: 各施設の発生集中交通量、方向別比率、アクセス経路から設定						
		空間単位	道路端点および駅前広場等の交通施設単位						
時間単位		1時間単位、3時間							
車両属性区分	乗用車、タクシー、大型貨物、バスの4種類、経路選択方法により区分								
その他									
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式, 1秒/1スキャン							
	パケットサイズ	1台/パケット							
	経路選択原理	固定経路							
	特記事項								
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	各交差点流入部の飽和交通流率						
		方法	断面交通量が等しくなるようにパラメータを調整						
	検証方法	断面交通量を用いた検証							
	検証用データ取得方法								
出力データ	駅前2交差点の滞留長								
記入者	所属機関・部署	(株)熊谷組 土木本部 社会システム部 交通システムグループ							
	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-9350	HP	http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/escote.html			
公表文献・資料等									